



令和8年度 北斗市立大野中学校 学校経営グランドデザイン



2026-04-01 ver

<目指す学校像>

- 自他の成長を実感できる学校
- 安心して子供を任せられる学校
- 互いにリスペクトし高めあう学校

<校是>

自覚 連帯 創造

<学校教育目標>

- わかるまで探究する生徒
- ともに励ましあう生徒
- きまりを大切にする生徒
- 進んでからだを鍛える生徒
- 美しいものに感動する生徒

<目指す教師像>

- 生徒の心に立つ教師
- 成長し続ける教師
- 励ましあう教師

(1) 主体性を伸ばす教育活動

- ①生徒のやる気を引き出す教育実践
 - 生徒自身が考える・決定する・意欲がわく・心が和む等の指導や活動をさまざまな場で
 - 生徒の成長や発達を支える生徒指導
 - 学ぶ意義や見通し・振り返りを大事にした授業
 - 生徒の手による活発な生徒会や学級・行事
- ②自立を支え促す教育活動の推進
 - 特別支援教育とわかりやすい授業や活動
 - 自立と学びを支援する通級指導教室の充実
 - 『時を守り、場を清め、礼を正す』生徒指導
 - 多様な学びの場の保障・関係機関やマウエイとの連携
 - 日常的なふれあいと対話・教育相談活動
(いじめ・不登校対策を含む)

<重点教育目標>

【卒業までに身に付けさせたい資質・能力】

「自分から、考え、行動し、 ともに高め合う力」の育成

(4) 組織体制の充実・発展・見直し

- ①組織的な学校運営
 - 教頭・主幹教諭・各主任を核とした運営
 - 職員どうしの連携と協働体制
 - 講師や支援員・カウンセラー等を含めた校内体制
 - 学校評価とその分析・検証を改善に生かす
- ②働き方改革の推進と業務改善
 - バランスのとれた業務改善・スリム化
 - 『なしなし』の日の推進
 - AIの活用による校務の効率化
 - 制度を活用した働き方の環境整備

(2) 持続可能な社会へ～資質・能力の育成

- ①授業改革と学校の全体計画の改善・探究学習
 - 知・徳・体をバランスよく育てる学校教育
 - 学ぶ楽しさと深める喜びを味わう授業
 - 全学年数学における習熟度別の少人数授業
 - ふるさとに親しむ探究学習・キャリア・地域貢献
 - 地域の素材や人材の活用、小学校との連携
 - タブレットを使った多様な学びのスタイル
- ②社会性を育む教育活動の推進
 - 学年・学級の充実と安心・安全な学校生活
 - 3C'sといじめ撲滅に向けた取組
 - 非認知能力の育成とスマホ・SNS等の使い方教室
 - 家庭学習でのタブレットの有効活用

(3) 高めあい励ましあう職員室

- ①豊かな交流は職員室の重要な機能
 - 職員室も温かく安心して協力し合えることが大切
 - 日常的な職員間の情報交換、教材研究、教育指導等
 - 次世代の人材育成に向けた積極的な受け入れ
- ②先生方も学ぶ活発な研修活動
 - 課題やニーズに即応した校内研修・授業研究
 - 先生方がお互いに高めあい励ましあう一人一授業の公開
 - 校外・オンライン研修への積極的な参加と校内への還元

(5) 信頼され応援される学校づくり

- ①危機管理体制の確立
 - 安心・安全につなげる危機管理
 - 未然防止・情報共有・初期(早期)対応・自立支援
 - 市や消防と連携した防災学習や命の授業
 - 服務規律の保持・徹底
- ②地域や保護者との協力・連携
 - 対話、面談、通信、ホームページ、メール配信等
 - 学校運営協議会や評議員会との連携と協働
 - 実効性のあるPTA活動
 - 部活動の地域展開を見据えた拠点校方式